

古事類苑

遊戯部二

圍碁

綴五 格五 併入
亂碁 附

圍碁ハ單ニゴトモ云フ、懷風藻ニ、大寶年中、僧辨正ガ唐國ニ遊ビ、圍碁セシコトヲ載セタリ、圍碁始テ此ニ見ユ、古來圍碁ニハ必ズ賭物アリ、或ハ布帛ヲ以テシ、或ハ紙ヲ以テシ、又錢ヲ以テス、其錢ヲ指シテ碁手錢ト云フ、後世德川氏ニ至リテ、物ヲ賭スルコトヲ禁ゼリ、

德川幕府ニ於テハ、碁所ヲ置キ、京都寂光寺中ノ僧、本因坊算砂ヲ擧ゲテ之ニ世祿ヲ與フ、算砂ハ碁ヲ善クスルヲ以テ、織田信長、豊臣秀吉ノ時、既ニ其寵遇ヲ受ケタル者ナリ、其後井上安井、林ノ三家モ亦徵サレテ碁所ト爲レリ、

圍碁ハ、其巧拙ニ由リテ階級アリ、初段ニ始マリ九段ニ訖ル、九段ヲ最ト爲シ、是ヲ名人ト云ヒ、八段ヲ半名人ト云ヒ、七段ヲ上手ト云フ、初段ニ至ラザルモノハ、皆素人ト爲ス、

綴五ハ四目殺ト云フ、彼我互ニ碁石ヲ並べ、我四石ヲ以テ敵ノ一石ヲ圍ム時ハ之ヲ殺シ、其數ノ多寡ヲ以テ勝敗ヲ決ス、

トス、
格五ハ五目並ト云フ、亦互ニ碁石ヲ縦、横、筋違ニ並べ、敵ニ先ジテ五箇連續シタルヲ以テ勝

名稱

〔倭名類聚抄四維藝〕圍碁 博物志云、堯造圍碁、昔期、字亦作碁、世間云五、一云、舜之所造也、中興書云、圍碁堯舜以教愚子也、